



広報

なかどまり

12月

2010 December No.68

よいしょー! よいしょー!

～武田小学校がもちつき会～

今年も残すところあとわずか。

武田小学校では、3世代での交流を目的に、もちつき会を行っています。

総合学習の時間に5年生が収穫したお米を使って、この日はおもちをつき、保護者と子どもたち、そして地域のおばあちゃんが交流を深めていました。

特集

地域づくり団体全国研修
交流会の分科会を開催

まちの
話題

こどもり新鮮朝市秋の大漁収穫祭
米塚義定杯争奪柔道大会
奥つがる子どもブックフェア

お知らせ

保育所入所児募集
年末年始のごみ収集
戸別所得補償の振り込め詐欺にご注意

地域づくり団体全国大会

11月12日(金)～13日(土)にかけて、第28回地域づくり団体全国研修交流会青森大会の中泊町分科会が行われ、中泊町グリーン・ツーリズムの会「かけはし」が、総合文化センター「パルナス」を主会場に行いました。



【漬物づくり体験】

【意見交換会】

【夜なべ談義でのお国自慢】

【夕食交流会】

11月12日(金)

今回の分科会へは、南は沖縄・九州から、北は岩手まで、いろいろな場所からの参加で、特に南方から参加された人々には、当町の寒さが少しこたえたようです。

■意見交換会

参加者は到着するなり、さっそく意見交換会で意見交換。この意見交換会には、かけはしのほか、町の地域づくり団体「起きて夢見る会」や「のれ！それ！中里実行委員会」も加わって、自分たちの現状や将来展望などを語り、お互い刺激になる有意義な意見交換会となったようです。

■漬物づくり体験・マグロ解体ショー

1時間強の意見交換会が終わったあとは、町のいいところを体験してもらおうと、さまざまな催しが行われました。まず行われたのは漬物づくりの体験。この日作られたのはヤーコン入りの“と漬”で、通常大根を使うところを、ヤーコンを使うことで、少し甘みが増したおいしいと漬ができあがっていました。

続いては当町おなじみのマグロ解体ショー。今回の解体ショーでは、参加者が中落ちを割り取る体験も行い、マグロを肌で感じるショーだったようです。

■夕食交流会・夜なべ談義

マグロが解体されると、それを肴に今度は夕食交流会がスタート。マグロのほかには、かけはしが精魂込めて作った手作りの郷土料理も振る舞われ、ホテルなどで出される料理とはまた違った味わいのせいか、参加者には大好評でした。

交流会が終わったあとも、宿泊場所のふれあいセンターに場所を移し、夜なべ談義がスタート。すっかり打ち解けたかけはしと参加者たちは、ここでも大盛り上がり。後半は、沖縄の参加者の呼びかけで“オトリー”と呼ばれる沖縄伝統の回し飲みが始まり、それぞれのお国自慢、方言自慢大会のような様相を呈し始め、交流は夜遅くにまで及びました。

11月13日(土)

■小説「津軽」の像記念館・金多豆蔵人形劇

13日は当町の観光名物を見学する日程で、最初に小説「津軽」の像記念館を見学。記念館に納められた貴重な資料を見学し、参加者は興味深げでした。次は、中里地域に舞戻って「金多豆蔵人形劇」の鑑賞。全編津軽弁の人形劇に、参加者には少し戸惑っていましたが、テンポのよい語り口と人形操作テクニックに、参加者は時折歓声を上げ、津軽の伝統を堪能していました。

■津軽鉄道ストーブ列車

そして、いよいよフィナーレとなる津軽鉄道ストーブ列車へ乗車。ちょうどお昼時ということもあり、お弁当が振る舞われ、かけはしが最後のおもてなし。レトロな車両と温かい人情に触れた参加者は、心地よい思い出を胸に津軽五所川原駅に到着し、それぞれの帰途につきました。



参加者のこえ

全国から参加いただいた19人。全員から分科会の感想と町へのメッセージをいただいています。

川満 尚喜
(沖縄県)
もてなしの気持ちが出来なかった。南の島では体験できないことをいろいろ経験させてもらった。(中泊は)何も無いというが、人の温かさがある。

村本 志朗
(石川県)
人の温かさを感じた。今までは青森といえば弘前だったけど、今は青森といえば中泊です！

江崎 孝俊
(熊本県)
最高のおもてなしに感動。(かけはしの会)自分たちも楽しみながらやっている。楽しんでやるのが、うまく続ける秘訣だと思った。

衛藤 剛
(熊本県)
今まで生きてきて最高！もてなしがすごくよかったです。またぜひ来たいと思います。

千葉 功己
(青森県)
かけはし、町職員の方のおもてなしに感動です。この分科会を契機に、ますますの中泊町発展を祈っています。

森平 健一
(熊本県)
今回参加して感じたのは、かけはしの女性たちが、地域を何とかしようと楽しく明るくやっていること。人形劇は、躍動感があってもよかった。

荒木 貢
(熊本県)
言葉がだいぶ分からなかったが、親しみを覚えました。方言はおもしろいですねー。寒かったけど、人情で暖めてもらった感じです。

宮川 武晴
(熊本県)
来年の全国大会で、私たちがこんなおもてなしができるのかな？と思った。タラの煮しめが特においしく、マグロより食べました(笑)

栄 圭介
(熊本県)
前夜祭からいろいろ食材を堪能した。手作り料理が特においしく、来年全国大会を開く私たちが手作り料理を出そうと思ったので、自信になった。

千葉 正吾
(岩手県)
かけはしの必死にがんばる姿には感動した。接客、配膳もそうだが、特にもてなしをしようという気持ちに感動した。満足です！

佐々木 紳了
(岩手県)
初めて飛び地合併の現場に来たが、住民同士は互いに刺激になって逆がいいのかなと思った。何とかしようというかけはしを見て、皆さんから元気をもらった。

岡田 光弘
(鳥取県)
日本の原風景。心の原風景。日本人の心のふるさと。厳しい冬あり、春の温かさあり、春が来ない冬はない。こういう風土で育った人々との旅は楽しい。

玉石 輝典
(和歌山県)
自然環境が厳しい中でも、工夫してがんばっている感じがする。こういう団結力は見習わなければならないと思いました。

三好 康午
(愛媛県)
料理の味が薄味で、自分の好みに合ってたんです。食事のうまい、まずは、旅の印象に大きく関わるので、本当によかったです。

お礼のことば
中泊町グリーンツーリズムの会「かけはし」
会長 **神 かづ子**
昨年、全国大会に参加してきましたが、何よりも夜なべ談義が心配でした。こちらは女性だけで、参加者はみな男性ということもあり、話が弾まなかったらどうしようと考えていました。でも、青森市での前夜祭から、自由に話せる雰囲気になったおかげで、スムーズに進めることができました。参加された皆さまに感謝です！
今回の分科会開催で、長く活動がんばる元気を皆さまにいただきました。本当にご参加ありがとうございました。
“わど、など、けやぐ!!”(私とあなたたちは友達です!!)

狩野 雅之
(群馬県)
一生忘れない。いい思い出。景色もいいし、自然も豊かなので、これを強みにして生かせればと思います。料理には心がこもっていました。

浦川 福一
(岩手県)
かけはしの一生涯懸命さに感激!!組織的に動いていて、活動が盛り上がっているなと感じた。せっかく盛り上がっているの、維持・継続してほしい。

高橋 典雄
(岩手県)
タベ(12日)は11時までつきあってくれたあと、後片付けや朝食のために早起きしてくれたり、また最後の青森駅まで来てもらって、本当に感謝しました。

鈴木 正朗
(岩手県)
グリーン・ツーリズムでは私たちが少し先を行っていると思いましたが、皆さんもこれから立ち上げる話があったので、第4の産業としてがんばってほしい。

狩野 孝久
(群馬県)
津軽鉄道に乗れるとは思ってなかったのが良かったです。群馬は海がないので、マグロの解体ショーがよかったのと、夜なべ談義が楽しかったです。

ま
ち
の
話
題

秋のまつり さまざまなイベントで

こども祭り新鮮朝市 秋の大漁収穫祭

11月28日(日)、すくすくこども館で「こども祭り新鮮朝市秋の大漁収穫祭！」が行われ、たくさんのお買い物が訪れました。9月に行われた夏まつりに続き、今回は秋の大漁収穫祭と銘打ち、いつもとは違った盛り上がりのある朝市になっていました。



オープニングに、よさこいチーム「夢幻天舞」が2曲踊って華を添え、収穫祭がスタート。そのほか、おなじみの金多豆蔵人形芝居や海峡マグロの解体・

即売、競り市、のど自慢、瓜田益子歌謡ショーなど、盛りだくさんのメニューで会場を沸かせました。会場には地元住民のほか、千里地区からの来客もかなりあり、朝市が町の恒例イベントとなっていることが感じられました。



奥津軽をより深く
ロータリークラブ
ーM開催

ロータリークラブのインターシテイミーティングが、11月6日(土)にパルナスで行われ、西北五つがる地区のロータリークラブ会員が一堂に集い、お互いの親睦を深めました。

今回のインターシテイミーティングは、会員同士の面識と親睦のほか、奥津軽をもっと知っ



若者を支え続けた功績

長谷川道義さん厚生労働大臣表彰を受ける

若者を積極的に雇用し、高校生の就業に貢献した功績が認められ、このたび長谷川道義さん(若葉町地区)が厚生労働大臣表彰を受けました。

長谷川さんは、昭和56年にそれまで個人経営だった製作所を会社組織にし、それを機に金木高校小泊分校の定時制生徒へ内職を斡旋。自宅を仕事場として解放するボランティア活動を始めました。一生懸命仕事に励む生徒の姿を見て、せめて最低賃金(当時は2600円)になる仕事はないものかと奔走し、大手電子機器メーカーの県内工場から仕事を受注。アルバイト先として生徒の受け入れを続けながら、正社員としての雇用も行い、定時制生徒の就業支援に大きな功績を残しました。学校が閉校する平成20年3月まで、PTA会長として学校を支え、現在も変わりなく卒業生を会社で雇用しています。

受賞の感想を長谷川さんに聞くと「ゆめゆめ思ってもいなかった。賞をもらうほどのことはしていないんだけど……」と謙遜気味。当時の話を長谷川さんに伺うと「とにかく子どもたちに仕事をさせたい一心で始めたが、次第に最低賃金より安い内職ではかわいそうだ



と思い、仕事を探しに回った。家庭の事情が悪い生徒もいて、会社に来なくなったときもあったが、その後一生懸命やっている姿を見ると、充実感があるし、すごくうれしかったね」と晴れ晴れした表情で語ってくれました。

てもらおうということを目的に開いたもので、今年は町での大会が開かれました。開会セレモニー後の基調講演では、町博物館学芸員の齋藤係長が「考古学から見た奥津軽」と題して講演。中世には蝦夷が島(現在の北海道)との境界として認知され、流刑地あるいは怪異が住む地域としてとらえられていたこの地方が、実は考古学的に縄文から近世に至るまで、十三湖を起点とした活力ある地域として位置づけられていたことを発表し、会場の会員は興味深げに聞き入っていました。会員はその後懇親会の中で、お互いに交流を深め合っています。

みちのく銀行労働組合が 児童用図書にと図書カードを寄贈

11月17日(水)、みちのく銀行労働組合の関川勇一執行委員長が町役場を訪れ、図書カード10万円相当を寄贈しました。

これは、例年みちのく銀行労働組合が各市町村に対して行っている社会貢献活動の一環で、子どもたちの読書活動支援のため、児童用図書購入のために寄贈されたものです。

訪れた関川委員長は、町長に目録を手渡し、町長は「大変ありがたい。子どもたちへの図書購入のために役立てたい」と喜んでいました。



笑って楽しく長生きを 老人クラブ連合会芸能大会

11月19日(金)、老人クラブに所属する高齢者が一堂に会し、町老人クラブ連合会(会長・白岩隆逸)の芸能大会がパルナスで行われました。

開会式では、同連合会の白岩会長が「人生はなんといっても健康、長寿が一番。その中でも笑うことは長寿にいいそうです。今日は大いに笑って、楽しく過ごしましょう」とあいさつ。来賓の町長も「今年には米の減収など大変な話題が多いが、今日は大いに笑って過ごしてください」と、これから開かれる芸能大会を存分に楽しんでもらうよう話していました。

おなじみの秋元正美さん(豊島地区)の司会で始まった芸能大会は、飛び入りも含め28の団体・個人が舞台上に立ち、歌や踊りなどを披露。観客からはたくさんの拍手が送られ、1日を楽しく笑って過ごしたようです。



今年度の家族経営協定合同調印式が、11月17日(水)パルナスで

農業経営の意欲向上を目指して 家族経営協定調印式に27組

開かれ、27家族が協定書に調印しました。

家族経営協定とは、農業経営に関わる家族がやりがいと意欲が持てるよう、経営方針や役割分担、就業環境などを、協定書として残すことです。

この日出席した家族は、事前に家族の間で話し合われた協定書に署名・押印。記念写真では晴れ晴れとした表情を見せ、これからの農業経営に思いを及ぼせていました。

少年柔道家が奮闘 米塚杯争奪 柔道大会

11月14日(日)に体育センターで、米塚義定杯争奪柔道大会が開かれました。

今年で16回目を数える同大会には、県内の小・中学生375人が参加。昨年旭日小綬賞を受章した米塚義定氏も来場し、参加する子どもたちにエールを送っていました。



■中学校女子団体
第3位 中里中学校
■小学校男子2年個人
第3位 中里中学校

- 中学校男子1年個人
第1位 奈良翔太(中里中)
- 中学校女子1年個人
第3位 大橋芽依(中里中)
- 中学校女子3年個人
第1位 鈴木瑞季(中里中)
- 米塚賞
野上凜音(中里誠心塾)
- 小学校女子1・2年個人
第1位 野上莉来奈(中里誠心塾)
- 小学校女子5・6年個人
第3位 野上凜音(中里誠心塾)
- 中学校男子1年個人
第1位 奈良翔太(中里中)
- 中学校女子1年個人
第3位 大橋芽依(中里中)
- 中学校女子3年個人
第1位 鈴木瑞季(中里中)
- 米塚賞
野上凜音(中里誠心塾)
- 第1位 葛西大悟(中里誠心塾)

ハロウィンをさまざまな催しで体験 子ども会ハロウィンパーティー

日本海漁火センターイベントホールで11月7日(日)、子ども会主催のハロウィンパーティーが催され、約30人の子どもたちが仮装コンテストやゲームを楽しみました。

さまざまな催しの中、メインイベントの仮装コンテストでは、子どもたちが魔法使いやトランプマン、メイドなどに扮し、会場を大いに沸かせていました。

結果は、最優秀賞に「魔法使いのペア」熊木慧都ちゃん・堅くん、アイデア賞には自衛隊に扮した山田法康くん、ファンタジー賞にはトランプマンの藤田実桜ちゃんが選ばれました。

コンテストが終わると、みんなで作る試食会。ババロア寒天やフライドチキン、パンプキンドーナツ、野菜スープに舌鼓を打ち、そのほかジャンケンゲームなどを行って、終始盛り上がったパーティーでした。



奥つがる子どもブックフェア#6
すつかり恒例となった町図書館のブックフェアが、今年も総合文化センター「パルナス」で開かれ、子どもたちや親子のほか、小泊福祉センターのデイサ

エコの要素随所に

ービス利用者あわせて約70人が参加しました。

11月27日(土)に行われたブックフェアは、今年で6回目。「E CO」って、ステキなこと！」と題し、絵本の読み聞かせ、手遊び、工作を楽しみました。

最初の読み聞かせには、町内外から5団体が登場。おはなしの内容がエコなものもあれば、本が牛乳パックで作られたものもあり、エコの要素が散りばめられています。
続いては手遊びの時間。絵本作家・中川ひろたかさんの作品「たちねぶたくん」にある「た

ちねぶた音頭」に合わせて、みんなが楽しく踊っていました。最後は、牛乳パックを使ってのペン立てづくり。のりと千代紙を使って、ステキなペン立てを完成させていました。
会場は、子どもたちの大きな笑い声が響き渡っていて、楽しみながらエコを考えるいい機会になったようです。

弘前大学公開講座

子育てのヒントを学ぶ

生涯学習の一環として行われた3回目の弘前大学公開講座が、10月26日(火)パルナスで行われ、18人が受講しました。
この日は、弘前大学生涯学習



教育研究センターの講師 深作拓郎氏が「子どもが育つ地域の生活と遊びを考える」と題して講演。前半は参加者と一緒にゲーム形式での遊び体験、後半は講義を行って、受講した参加者は熱心に聞き入っていました。

深作氏の講義は、子どもや大人にとっての地域と暮らし、遊びの意味、そして今求められる子育ての視点など、非常に示唆に富んでおり、受講生の興味を引いていました。

町内から参加した保育士は、「ゲームなどがあったせいで楽しめた。先生が最後に言った『見守る保育』というキーワードが印象的でした」と、今後の仕事に生かせる話が聞けてうれしそうでした。

広告

寒い季節になってきました

ピュア食堂 冬のおすすめ



みそラーメン ¥650



肉鍋 ¥700

新幹線でお出でのお客様

ボリューム満点の食事!
ユニークなトマト入ラーメン!
が自慢の当店へぜひお越しください。

トマトのマークが目印!
中泊町特産物直売所「ピュア」内

「ピュア食堂」

出前も
できます

☎ 0173-57-5011

仕事の重要さを体で感じる

中里中学校 職場体験

11月2日(火)、中里中学校の3年生4人が役場を訪れ、役場の仕組みを学んだり、業務を経験する職場体験を行いました。

この日訪れたのは、小山内功宇太くん、田中竜矢くん、加藤駿くん、岩間光平くんの4人。総務課職員の案内で、各課の業務を聞いたり、町民課でレセプト(診療報酬明細書)の整理といった体験をし、特にレセプト整理は苦勞していましたが、一生懸命業務をこなしていました。

4人からは、後日手紙で「貴重な体験だった」「いい経験だった」「今回の体験をもとに将来について考えたい」といった感想が寄せられました。



ソフトテニスで快挙 平川市の大会で 優勝!

9月25日(土)、青森県ソフトテニス連盟が主催した第7回会長



杯市町村対抗小学生ソフトテニス大会が平川市で開催され、中泊ジュニアソフトテニスの女子が優勝、男子も準優勝という成績を収めました。

男子は決勝リーグを3勝1敗としましたが、4勝の平川市に惜しくも及ばず。女子はトーナメント準決勝の十和田市を破り、決勝では6連覇中のおいらせ町を破つての初優勝でした。

ボランティアで表彰 めんだりカッチャの会



10月28日(木)県庁で、平成22年度青森県ふれあい活動功労者の知事表彰が行われ、町のボランティアグループ「めんだりカッチャ」が表彰を受けました。
めんだりカッチャは、内湯療護園でデイサービスを行っており、日曜日を除いた週6回、会員3人1組で昼食の配膳や食器洗いなどをボランティアで行っていて、今回はその活動が認められての表彰です。

お詫びと訂正

11月号で紹介したウオーキング大会「さああさぐべしなかどまり」の記事中、健康運動指導士のお名前を葛西仁美さんと紹介しましたが、正しくは「葛原仁美」さんです。申し訳ありませんでした。お詫びして訂正させていただきます。

年金の請求を忘れていませんか? 心当たりがあればお早めに「相談ください」

【厚生労働省・日本年金機構】

- ①年金の加入期間が25年未満の人
加入期間が25年未満でも、カラ期間(※)と合わせて25年以上あれば年金が受け取れます。
※カラ期間の例：サラリーマンの配偶者であった期間のうち、昭和61年3月までの間で国民年金に任意加入していなかった期間など
 - ②年金の受け取り開始を66歳以降に繰り下げている人
70歳になっても年金は自動的に支払われません。
年金を受け取り始めるには請求が必要です。
 - ③厚生年金への加入期間がある65歳以上の人
「老齢厚生年金」と「老齢基礎年金」の2種類の年金が受け取れます。片方の年金だけを受け取っている人は、受け取っていない年金を請求してください。
 - ④片方の年金の受け取り開始を繰り下げている人は、70歳になるまでに年金を請求してください。
 - ⑤厚生年金への加入期間がある人で「65歳になってから年金を受け取る」と思っている人
要件を満たす人に対して支払われる「特別支給の老齢厚生年金(※)」は、65歳になる前に請求しても年金額が減らされません。速やかに請求してください。
※特別支給の老齢厚生年金：65歳前に受け取ることができる老齢厚生年金
 - ⑥60歳以上で会社にお勤めの人
現在会社にお勤めの人も、年金を受け取る資格を満たしている場合は請求の手続きを行ってください。
給与の額などに応じて、支払額の調整が行われる場合がありますが、全額停止の場合を除き年金を受け取ることができます。
- ご相談はお近くの年金事務所、街角の年金相談センター、またはねんきんダイヤル ☎0570(05)1165まで
※IP電話・PHSからは ☎03(6700)1165

中泊町議会議員選挙 投票日は12月19日(日)

【選挙管理委員会事務局 内線191】

①選挙資格

- 年 齢…平成2年12月20日以前に生まれた人
- 住 所…平成22年9月13日以前に町に転入届をして居住している人
※転出すると投票できません。

②期日前投票

投票日に都合で投票所へ行くことができない人は、次の期間に期日前投票ができます。

- 投票期間…12月15日(水)～12月18日(土)
- 投票時間…午前8時30分～午後8時
- 投票場所
 - ・中里地域の人 役場選挙管理委員会事務局
 - ・小泊地域の人 小泊支所第1研修室(日本海漁火センター)
 ※ご自分が住所登録している地域でないと投票できません。

③不在者投票(出稼ぎ先での投票など)

- 受付場所…選挙管理委員会事務局、小泊支所
※申請用紙(宣誓書)は受付場所にあります。
- 申請方法…宣誓書に氏名・生年月日・送付先などを記入していただきます。
※本人でなくても、家族や代理人が申請できます(印鑑必要)。
- 投票用紙の発送…12月10日(金)～12日(日)に郵送します。
※到着しても、投票が可能な期間(12月15～18日)になるまでは投票できません。

④不在者投票の注意事項

- 投票期間…投票できるのは、12月15日(水)～12月18日(土)です。
- 投票方法…最寄りの選挙管理委員会へ行き、投票してください。
※選管担当者の執務時間内に投票してください。
- 返送方法…返送は、投票を受け付けた選管担当者が行います。
※選管職員の立ち会い無しで返送すると無効になります。
- その他…12月19日(投票日)までに到着しないと無効になります。郵送期間を見込んで、早目に投票をお願いします。
〈大切な1票です！ 必ず投票しましょう〉

役場からののお知らせ

中泊町役場 ☎57-2111
小泊支所 ☎64-2111

「新年を祝う集い」へご参加ください

【総務課行政係 内線118】

◇日時…平成23年1月4日(火) 午後2時～

◇場所…町総合文化センター「バルナス」ホール

- ◇会費…3,500円
 - ◇申込…平成22年12月21日(火)までに次の場所の申込用紙に記入のうえ、会費を添えてお申し込みください。
 - ・役場総務課…☎(57) 2 1 1 1
 - ・小泊支所…☎(64) 2 1 1 1
 - ・バルナス…☎(69) 1 1 1 1
- *小泊地域からは送迎バスを運

新春を駆け抜けよう 元旦マラソン

【教育委員会社会教育課 ☎69-1112】

- 日 時…平成23年1月1日(土)
午前8時30分集合
午前9時スタート
- 集合場所…町体育センター前
みなさん、ぜひご参加ください。

html

http://www.pref.aomori.lg.jp/kotsu/build/H22nadarebousai.html

青森県は全土が豪雪地帯で、15地域は特別豪雪地帯にも指定されています。

雪崩に気を付けましょ

【環境整備課土木係 内線232】

行します。どうぞご利用ください。

なんでも行政相談

日 時…12月15日(水) 午前9時～12時
(毎月第3水曜日)

場 所…中央公民館

行政相談委員…秋元 武弘、藪田 由比子

※行政相談は、住民から寄せられた苦情や意見・要望を、住民と関係行政機関との間に立って、公正・中立な立場から必要なあっせんを行い、その解決や実現の促進を図ります。

心配ごと相談 中泊町社会福祉協議会

中里地域

12月22日 横山 光枝
塚本 初子

相談場所 役場相談室
相談時間 午前9時～午後2時

不法投棄は 犯罪です!!

【環境整備課衛生係 内線235】
【五所川原警察署金木分庁舎

☎(53)2117

最近、道路沿いや農地、山林などへのごみの不法投棄が多発しています。特に山間部には、「人目につきにくい」「既にごみが捨ててある」などの理由で、ごみを平気で捨てる人がいます。

不法投棄は、地域の景観を損なうだけでなく、有害な物質が漏れる恐れがあり、土壌や地下水、河川が汚染されるなどの深刻な環境問題につながる重大な犯罪行為です。

また、不法投棄には「ごみ集積所以外にごみを捨てる」という行為のほかに、「収集日以外に集積所にごみを出す」という行為も含まれますので、絶対に行わないでください。

廃棄物の不法投棄は法律で禁止されており、違反すると5年以下の懲役または1,000万円(法人には1億円まで加重ができる)以下の罰金が科せられるなど、制裁措置が大幅に引き上げられています。

町では、担当職員ならびに不法投棄監視員などによるパトロールを実施し、監視体制の強化を図り厳しく対処します。また、ごみを捨てた人が特定される場

合は、警察へ通報します。そして最終的に不法投棄した人には、自分が捨てたごみを撤去・処理してもらいますので、不法投棄は絶対にやめましょう。

※不法投棄している人を見かけましたら、まずご自身の安全を確保した上で、投棄者の特徴や車のナンバーなどを、役場環境整備課または五所川原警察署金木分庁舎まで通報してください。

平成23・24年度 一般競争(指名競争)入札 参加資格審査申請書受付

【財政課管財係 内線224】

平成23・24年度の一般競争(指名競争)入札参加資格審査申請書の受付をします。

- 1 提出先…〒037-0392 青森県北津軽郡中泊町大字中里字亀山434番地1
中泊町役場財政課管財係
- 2 受付期間…平成23年1月4日～平成23年1月31日まで(土、日、祝日を除く)
(郵送及び宅配便での提出は、最終日発送分まで有効)
- 3 有効期間…平成23年4月1日～平成25年3月31日の2年間
- 4 申請書様式…以下の表のとおり。
町指定様式はホームページからダウンロードできます。
ホームページ <http://www.town.nakadomari.lg.jp/>
- 5 提出方法…持参または郵送で。次のことに注意してください。
(1)A4判フラットファイルに綴じてください。(色指定なし。止め部分金属不可)
(2)表紙及び背表紙に会社名を記載してください。
(3)添付書類のうち証明書関係は写しでも可能です。
- 6 その他…宛名は中泊町長としてください。

番号	書類名	建設工事	測量・建設コンサルタント等	物品製造等	備考
		国交省様式	国交省様式	町指定様式	
①	一般競争(指名競争)参加資格審査申請書	○	○	○	
②	営業所一覧表	○	○	—	
③	工事(業務)経歴書(2年分)	○	○	○	物品等で内容が同様であれば別様式可
④	建設業許可証明書	○	—	—	写し可
⑤	経営規模等評価結果通知書・総合評価値通知書	○	—	—	写し可
⑥	営業許可等証明書	—	○	○	写し可(業種により、営業許可が必要な場合提出)
⑦	国税・県税・市町村税納税証明書(未納がないことがわかるもの) 例えば国税は、未納のない証明(その3の2)または(その3の3)	○	○	○	写し可(直前1年間の確定年度(年)分とします)
⑧	委任状	○	○	○	権限を支店・営業所へ委任する場合
⑨	使用印鑑届	○	○	○	
⑩	印鑑証明書	○	○	○	写し可
⑪	財務諸表類(決算書等)	○	○	○	直前1年分
⑫	会社登記簿謄本または履歴事項全部証明書	○	○	○	写し可
	身分証明書(個人の場合)	○	○	○	写し可

図書館情報

今月のMiniコレクション

「クリスマス」をテーマにした本と「2008年ベスト貸出」本の展示・貸出しを行います。

新刊情報

- 『死ぬときに人はどうなる10の質問』 大津秀一 致知出版社
- 『日本の恐ろしい真実』 辛坊次郎 角川SSコミュニケーションズ
- 『磯野家の謎』 東京サザエさん学会 飛鳥新社
- 『ラブソディ・イン・ラブ』 小路幸也 PHP研究所
- 『昼咲月見草』 野中 柊 河出書房新社

不法投棄禁止



戸別所得補償モデル対策の交付金支給を装った振り込め詐欺、口座番号・暗証番号の聞き出しに注意!

【農政課農業振興係 内線156】
【青森農政事務所地域第三課 ☎0173-35-2138】

11月から戸別所得補償モデル対策の交付金が支払われていますが、「振り込め詐欺」や「個人情報の詐取」といった犯罪が心配されています。

■農林水産省、農政局、農政事務所、地域水田農業推進協議会、市町村、農協などがATM(現金自動預払機)の操作をお願いすることは絶対にありません!

■交付金支払のために、手数料を請求することは絶対にありません!

※農林水産省などの職員を名乗る者から電話があり、不審だと思ったら、相手の所属・名前・電話番号などを確認して、農政事務所や町役場などへ連絡するようにしましょう。

冬季・年末年始の「ごみ収集」

【環境整備課衛生係 内線2655】

〈中里地域〉

雪などでごみ収集車が入れない地域は、ご面倒でも次の期間には、昨年同様に本道路までごみを出してくださいさようお願いします。

■期間：平成22年12月14日(火)～平成23年3月31日(木)

■平成22年12月31日(金)～平成23年1月3日(月)は、ごみ収集を休みます。

■中里一般廃棄物最終処分場は、

〈小泊地域〉

平成22年12月27日(月)～平成23年1月4日(火)までが休みです。

■平成22年12月31日(金)～平成23年1月3日(月)は、ごみ収集を休みます。

■小泊一般廃棄物最終処分場は、平成22年12月29日(水)～平成23年1月3日(月)までが休みです。

◆決められた収集日に決められた場所・決められた時間(8時)までに出してください。

◆燃えるごみ・燃えないごみの分別をして出してください。

◆ごみの指定袋には、必ず町内・

平成23年度 保育所入所児童募集

【福祉課福祉係 内線127】

- 申込期限……平成23年1月25日(火)
- 申込先……役場福祉課・小泊支所・各保育所
(平成23年度途中で入所を希望する場合も今回申込んでください)
- ※原則、現在入所している児童で複数年申込みしている場合は、新たに申込みする必要はありません。
- ※申請書は、福祉課・小泊支所・各保育所にあります。

1. 保育目標

- 健康かつ安全で、情緒が安定する環境の中で健全な心身の発達を図る。
- いきいきと現在を生き、望ましい未来をつくり出す力の基礎を培う。

2. 各保育所の概要

保育所名	(公)中里保育所	(福)富野保育所	(福)薄市保育所	(公)小泊保育所
所在地	中里字紅葉坂27-1	富野字千歳189-1	薄市字飛石田野沢187-4	小泊字砂山1142
経営主体	中泊町	(福)みちのく会	(福)みちのく会	中泊町
定数	120人	60人	50人	80人
通常保育時間	午前8時15分～午後4時15分	午前7時～午後6時	午前7時～午後6時	午前8時15分～午後4時15分
開所時間	午前7時30分～午後6時	午前7時～午後7時	午前7時～午後7時	午前7時30分～午後6時
バスなどでの送迎	有 (大沢内・八幡・深郷田・尾別・上高根・長泥・若宮・竹田地区)	有 (豊島・芦野・田茂木・下豊岡・福浦地区)	有 (今泉地区)	有 (下前地区)
1歳3か月未満の児童は、各自で送迎して下さるようお願いいたします。				
乳児保育	可	可	可	可
一時保育	無	有	有	無
入所児童数(H22.11.1現在)	93人	73人	45人	60人
職員数(H22.11.1現在)	15人	16人	11人	10人

※保育所名の(公)は公立、(福)は社会福祉法人の略です。

氏名を記入してください。
◆リサイクル品は、指定袋以外の袋に町内・氏名を記入して出してください。
◆スプレー缶などは、必ずガス抜きをし、燃えないごみの日に出してください。
◆(ガス抜き処理をしないと重大な事故につながる恐れがあります)が大変危険です)

保健センター封筒掲載広告の募集

【総務課広報係 内線162】

- 封筒のサイズ
縦235mm×横120mm(定型長3)
- 広告のサイズ・位置・色
縦50mm×横100mmで裏面に3枠、1色刷(黒)
- 使用期間・用途
平成23年2月以降、保健センターの郵送物に使用します
- 作成枚数…3,000枚
- 最低募集単価…1枚あたり4円
- 申込方法
申込書に記入の上、広告案を添えてお申込みください。
※お問合せいただければ、申込書をお送りします。また町ホームページ(www.town.nakadomari.lg.jp)の「有料広告事業」からダウンロードもできます。
- 申込期限…12月24日(金)

ハタハタ遊漁者の皆さんへ

【西北地域県民局地域農林水産部鯨ヶ沢水産事務所
☎ 0173-72-4300】
【水産観光課(小泊支所) ☎ 64-2111】

西海岸には、冬になるとハタハタが産卵のために来ています。水産資源保護のため、県では次のようなことを規則で定めています。

●ハタハタが生んだ卵(プリコ)を採捕・所持・販売することは禁じられています。

●遊漁者などが使用できる漁具・漁法は、
①竿づり及び手づり ②たも網、又手網及び四つ手網
③投網 ④やす(発射装置を有するものを除く)及びは
具 ⑤徒手採捕(潜水器により行うものを除く)
です。これら以外の漁具(カニ籠など)で採捕することは禁止されています。

※立入禁止区域など危険な場所での遊漁は、絶対やめましょう。水難事故防止のため、救命胴衣(ライフジャケット)を着用しましょう。

町教育委員会事務事業の評価報告書をご覧になれます

【教育委員会総務学務課
☎(69)1112】

町教育委員会では、平成21年度の事務事業を評価し、その報告書を作成しました。

会議の開催状況や、事業の内容・課題などが記載されています。

■**ご覧になれる場所**(平日の8時30分〜午後4時30分)

・町教育委員会(パルナス内)

・町教育委員会小泊事務所(小泊支所内)

門松づくり教室・津軽風づくり教室受講生募集!!

【中央公民館 ☎(57)2341】

受講を希望される人は、電話などでお申込みください。

《門松づくり教室》

■日時：12月22日(水)

午前9時〜11時

■場所：中央公民館大ホール

■対象者：親子、町民

■募集人数：40人

■受講料：材料代として1組(2個)2,000円

■申込締切：12月17日(金)

※募集人数に達した時点で締切

ります。希望者は早目にお申込みください。

《津軽風づくり教室》

■日時：1月11日(火)、12日(水)

午前9時〜12時

(2日間かかります)

■場所：中央公民館大ホール

■対象者：親子、町民

■募集人数：20人

■受講料：材料代として1枚600円(2枚風の大きさです)

■申込締切：12月22日(水)

※募集人数に達した時点で締切となります。また、申込が8人未満の場合は中止となりますのでご了承ください。

第1回 年忘れ! 雪上綱引き大会 参加者募集

【中里地域…教育委員会社会教育課 ☎ 69-1112】

【小泊地域…教育委員会小泊事務所 ☎ 64-2679】

■日時…平成22年12月29日(水) 午前8時45分〜11時
受 付：午前8時45分〜9時

■会場…小泊漁協前おまつり広場(こどもり新鮮朝市会場)

■参加対象…町在住の中学生以上の町民

■チーム数…先着12チームで締切

■チーム編成…1チーム8人以内で編成(試合は7人制、女子・中学生のみのチームには特別ルール(ハンディ)を設けます)

■参加費…無料

■表彰…1〜3位までとブービー賞があります。

副賞として、新鮮朝市出展者の賞品が選べます。また、全員に参加賞があります。

■申込方法…教育委員会備え付けの申込用紙でお申込みください。

■申込締切…平成22年12月21日(火)

■その他…中里地域は送迎バスを運行しますのでご利用ください。

7:50(武田公民館)→8:00(中央公民館)→8:10(内瀧郵便局前)→8:45(小泊漁協前おまつり広場)

~大会当日はこどもり新鮮朝市も開催しているよ!~

みんなで綱を引いて嫌なことを忘れ、新鮮な海の幸・山の幸をゲットしよう!

薄市農道冬期間通行止めのお知らせ

【農政課土地改良係 内線153】

◆通行止め区間

こめ・米ロード終点(マルイチ石油)から今泉国道339号交差点(給食センター)まで

◆通行止め期間(予定)

平成22年12月下旬 ~ 平成23年3月下旬

※天候により変更する場合があります。

12月28日は

国民健康保険税 6期

固定資産税 4期

町県民税 4期

の納期限です。

忘れずに納めましょう。

【税務課 内線144】



平成22年度 上期中泊町財政状況 (4/1～9/30)

一般会計

◆歳入

(単位：千円・%)

科目名	予算額	収入済額	収入率
町 税	738,700	479,518	64.9
地方譲与税	102,500	28,789	28.1
利子割交付金	3,600	943	26.2
配当割交付金	300	170	56.7
株式等譲渡所得割交付金	100	0	0.0
地方消費税交付金	107,100	62,933	58.8
自動車取得税交付金	22,600	10,463	46.3
地方特例交付金	19,741	19,741	100.0
地方交付税	4,033,168	2,801,890	69.5
交通安全対策特別交付金	960	489	50.9
分担金及び負担金	36,183	16,303	45.1
使用料及び手数料	94,594	46,036	48.7
国庫支出金	843,082	156,431	18.6
県支出金	657,736	110,332	16.8
財産収入	5,153	1,042	20.2
寄附金	1	60	6,000.0
繰入金	96,198	0	0.0
繰越金	139,457	139,458	100.0
諸収入	164,193	46,687	28.4
町債	922,000	28,400	3.1
合計	7,987,366	3,949,685	49.4

◆歳出

(単位：千円・%)

科目名	予算額	支出済額	執行率
議会費	109,398	55,863	51.1
総務費	1,480,454	523,015	35.3
民生費	1,133,397	431,987	38.1
衛生費	1,167,515	434,382	37.2
労働費	4,256	2,081	48.9
農林水産業費	654,598	285,461	43.6
商工費	101,634	79,175	77.9
土木費	469,294	160,927	34.3
消防費	502,216	235,864	47.0
教育費	976,091	394,592	40.4
災害復旧費	532	0	0.0
公債費	1,384,477	709,840	51.3
予備費	3,504	0	0.0
合計	7,987,366	3,313,187	41.5

町税の収入済額と構成比

(単位：千円・%)

税目名	収入済額	構成比
町 民 税	156,000	32.5
固 定 資 産 税	245,190	51.1
軽 自 動 車 税	29,719	6.2
た ば こ 税	48,609	10.1
合 計	479,518	100.0

特別会計・公営企業会計

(単位：千円・%)

会 計	区分	予算額	収入済額	収入率
			支出済額	執行率
国民健康保険事業 (事業勘定)	歳入	2,455,314	713,313	29.1
	歳出		1,145,248	46.6
老人保健事業	歳入	1,504	177	11.8
	歳出		8	0.5
農業集落 排水事業	歳入	36,717	2,530	6.9
	歳出		16,810	45.8
介護保険事業	歳入	1,409,527	593,388	42.1
	歳出		567,525	40.3
漁業集落 排水事業	歳入	28,580	1,335	4.7
	歳出		14,164	49.6
国民健康保険事業 (施設勘定)	歳入	650,046	37,889	5.8
	歳出		564,624	86.9
特別養護老人ホーム 静和園事業	歳入	308,171	116,630	37.8
	歳出		139,531	45.3
後期高齢者 医療事業	歳入	236,803	26,849	11.3
	歳出		92,808	39.2
水道事業 (収益的)	収入	355,023	173,992	49.0
	支出	308,928	78,121	25.3

町有財産の状況(一般会計・特別会計)

土 地	1,714,956㎡
山 林	822,670㎡
建 物	126,430㎡
有 価 証 券	2,089千円
出資による権利	97,990千円
基金・積立金	1,433,735千円
自 動 車 等	116台

町債及び一時借入金等の状況(一般会計・特別会計)

町債残高	10,404,387千円
一時借入金残高	0千円
基金繰替運用残高	700,000千円

運転免許更新講習会場の変更

〔五所川原警察署交通課
☎(35)2141〕

12月末まで、運転免許更新の講習会場を「金木分庁舎」としていましたが、来年1月4日(火)からは、従来どおり「五所川原警察署」に戻ります。

12月末までの会場

■五所川原警察署金木分庁舎
■平成23年1月4日からは五所川原警察署

※すでに運転免許更新手続きを終了し、講習を受けていない方も、平成23年1月4日以降は五所川原警察署での受講になります。

※金木分庁舎では、毎週金曜日の優良運転者講習のみ実施となります。

浄化槽は正しく使おう

〔青森県〕

浄化槽は、微生物の働きを利用して浄化するため、適正な管理が必要です。法律で次のことが義務づけられています。

- ①定期的な保守点検 ②年1回の清掃 ③法定検査(使用開始後及び年1回)

法定検査は、(社)青森県浄化槽検査センター(☎017(726)9500)が行います。また、浄化槽の使用開始や廃止、所有者の変更などは、弘前環境管理

事務所(☎0172(31)1900)への届出などが必要です。

中核病院仮称住民説明会開催

〔つがる西北五広域連合病院再編事務局 ☎(26)63631〕

新たな医療体制構築を目指し、中核病院の建設を計画していますが、その実施設計が本年度中に完成する予定です。

自治体病院の機能再編成計画と中核病院建設の進み具合についての説明会を、次の日程で開催します。

●日時：12月19日(日) 午後1時30分～3時

●場所：五所川原地域職業訓練センター大教室

静和園だより〈慰問〉

- ・「中里幼稚園」 園長 三上照美
防火パレードにちなんで来園。鼓笛演奏を披露してくれました。
- ・「五所川原甚句保存会」 会長 山本永悦
会員15名で来園。創作舞踊、三味線を1時間にわたり披露してくれました。



- ・10月28日「中里保育所」 所長 加藤真宏
- ・11月18日「富野保育所」 所長 吉田照生
子ども達がお遊戯などを披露してくれました。



なかどまり

119

119番 内容を正確に伝えましょう

町からの119番通報は、五所川原消防本部の通信指令課につながります。また、普通電話から中里消防署と小泊消防署へ、火事や救急の出動要請ができます。いずれの場合も、早い出動には正確な情報が必要になります。万一に備え、次の項目を紙に書いて、電話のそばに貼っておいてください。

- ①火事・救急・交通事故なのかを伝えます。
- ②住所を伝えます。家の住所を正確に伝えてください。
- ※中泊町大字○○字○○番地まで正確にお願いします。
- ③名前を伝えます。自宅の場合は世帯主を伝えてください。
- ④電話番号を伝えます。家に固定電話がなく、携帯電話から通報した場合は、携帯電話の番号になります。
- ⑤近くにある目標物を伝えます。
- ※○○商店の隣り、○○小学校の向かいの家など。
- ⑥現在の状態を伝えます。

救急車の適正利用 ご理解・ご協力 お願いします

近年、全国的な高齢化に伴い、救急車の要請件数も増加しています。また、軽症と思われる救急要請の件数が多くなっています。

本日に救急車を必要とする事故などが発生した場合、対応が困難となり、近隣の消防署から救急車が出動することになって到着が遅れ、救える命が救えなくなる恐れがあります。

緊急を要する人のために救急車の適正な利用をお願いします。

●事故や急病で、救急車以外に搬送の手段がなく、症状からみて緊急に医療機関に搬送が必要と判断される場合は、迷わず119番通報してください。

●症状は軽微だが「どの病院に行けばよいか分からない」といった場合は、最寄りの消防署に電話して、病院照会をもらうこともできます。



みんなの保健センター

中里 ☎(57)3920
小泊 ☎(64)3748



むし歯のない子の紹介

3歳児健診にて

(11月11日実施)

- ①日頃むし歯をつくらぬように気を付けていることは?
- ②わが子の自慢できることは?

坂田 一華ちゃん(派立下)

- ①毎日の仕上げみがき
- ②元気いっぱい遊ぶ所



荒関 いちはちゃん(向町上)

- ①甘いジュースをあまり飲まないこと
- ②クルクルな髪とかわいい笑顔



野上 千花ちゃん(下高根)

- ①夜ねる前に仕上げみがきをす
- ②優しいところ



お知らせとお願い

乳児健診は、各月齢により受付時間が異なっています。ご理解とご協力をお願いします。

対象月齢	受付時間
4か月	13:00～13:15
7か月	13:00～13:15
10か月	13:15～13:30
12か月	13:15～13:30

小泊地区でも運動教室実施します

運動をはじめようと思っている方、運動不足を解消したいと思っている方、一緒に体を動かしてみませんか?

月日	時間
12月6日(月)	13:30～
1月18日(火)	14:30～
2月8日(火)	14:30～
3月8日(火)	14:30～

講師…健康運動指導士

場所…日本海漁火センター

内容…ストレッチ・有酸素運動など

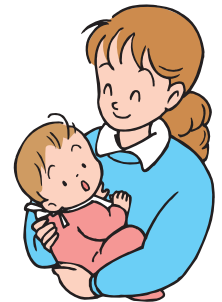
■お問合せは小泊保健センターまで

こころの健康づくり講演会

先日、こころの健康づくりの講演会を、司法書士の西巻先生、精神保健センター所長岩佐先生、

各種乳幼児健診も実施しています。当日、お子さんや保護者の体調が良くないときは、次回の健診を受診くださるようお願いいたします。

その際は、保健センターへご連絡ください。



五所川原市NPO法人ほほえみの会 藤林さんを講師に迎え、3回シリーズで開催しました。



こころの健康は、健康上の問題や経済的な問題などさまざまな要因が重なり合い、身体的な症状として出現したり、うつ的な思考や気分から抜け出しにくくなってしまうことがあります。



一人で悩みを抱え込んでいませんか? 誰かに相談してみませんか? 誰かに相談・話すことで解決の糸口が見えてくるかもしれません。まずは、誰かに話してみてください。

保健センターでは、毎月0のつく平日に、こころの相談を行っています。

12月の相談日は

12月10日(金) 午前10時～12時

12月20日(月) 午前10時～12時

そのほかの日時でも相談に応じています。一人で悩まずどうぞ相談してください

相談窓口…中里保健センター

中泊町の行事カレンダー

12 月			1 月		
16	木	13:00~ 乳児健診(中里保健センター)	1	土	9:00~ 元旦マラソン(体育センター)
17	金	10:00~14:30 機能訓練教室(中里保健センター) 14:00~ 地域力結集フォーラム(津軽中里駅)	2	日	
18	土		3	月	東北新幹線全線開業特別企画 「新春金多豆蔵初笑い市」(津軽中里駅)
19	日	中泊町議会議員選挙投票日	4	火	14:00~ 新年を祝う集い(パルナス)
20	月	10:00~12:00 こころの相談日(中里保健センター)	5	水	
21	火	14:30~16:30 運動継続支援事業(体育センター)	6	木	
22	水	小・中学校終業式 9:00~ 門松づくり教室(中央公民館) 9:00~14:00 心配ごと相談(役場相談室)	7	金	
23	木	9:00~12:00 ふれあい楽習室ケーキ作り (すくすくしたまえ館)	8	土	
24	金		9	日	10:00~13:30 雪んこまつり(すくすくしたまえ館)
25	土		10	月	
26	日		11	火	9:00~ 津軽凧づくり教室(中央公民館)
27	月		12	水	9:00~ 津軽凧づくり教室(中央公民館) 12:50~ 2歳6か月児歯科健診(中里保健センター)
28	火		13	木	12:15~ 3歳児健診(中里保健センター)
29	水	8:45~ 年忘れ!雪上網引き大会(おまつり広場)	14	金	10:00~14:30 機能訓練教室(中里保健センター) 10:00~ 高齢者教室(中央公民館)
30	木		15	土	
31	金				

粕谷 小隆 三上 大場 浜田 小野 葛西 岸田 藤森 猪股 武田 青山 青山 小笠原 松橋 今孝 平林 坂田 省吾

(埼玉県) (新町1) (弘前市) (派立) (千葉県) (派立上) (宮野沢) (岡山県) (尾別) (八幡) (滋賀県) (今泉下) (尾別) (青森市) (つがる市) (五林) (東京都) (宮野沢)



結婚おめでとうです

永塚 米塚 角田 川島 佐藤 藤 永塚 米塚 角田 川島 佐藤 藤

琉葵 (男・章) 下前上 明有 (女・亮) 福浦 蒼斗 (男・憲亮) 深郷田上 一斗 (男・哲也) 宮野沢 ひなた (女・直人) 芦野



誕生おめでとうです

(10月届出分)

戸籍の窓口

秋元 佐藤 橋本 神成 猪股 松田 加藤 藤崎 阿部 成田 奈良 秋元 青山 加藤 成田 松野 佐野 佐野 川村

70 100 83 60 55 89 64 81 79 87 74 79 85 71 78 84 86 88 94

(温泉町) (派立) (浜町) (若葉町) (芦野) (豊島) (下豊岡) (深郷田上) (深郷田下) (薄市上) (竹田) (薄市上) (薄市上) (下高根) (八幡) (薄市下) (富野) (田茂木) (田茂木) (今泉下)



お悔やみ申し上げます

人のうごき

10月末現在(前月比)

人口	13,427人(-22)
男	6,367人(-12)
女	7,060人(-10)
世帯数	5,160戸(-3)
出生	6 / 死亡 18
転入	11 / 転出 21

東北新幹線いよいよ全線開業

— お客さま受け入れに向けて —



【地域観光情報発信力向上研修会】

いよいよ全線開業した東北新幹線。

町商工会では、この全線開業効果を活かそうと、町内の事業者や地域づくり団体などを対象に、このほど研修会を催しました。

11月10日(水)には総合文化センター「パルナス」で、今やB級グルメの定番となった“八戸せんべい汁”の仕掛け人木村聡氏を講師に迎えた「地域観光情報発信力向上研修会」を行いました。

せんべい汁で八戸を元気にする!!といったスタートから、B-1グランプリが定着し、成功を収めるまでのストーリーが語られ、ブランド化の極意や観光戦略のすばらしさに、参加者たちは刺激を受け、その後の座談会でも活発な意見交換が

されました。

11月25日(木)には、中央公民館で「地域観光ホスピタリティ向上研修会」が行われ、(株)セミナー青森専任講師の鎌田昌子氏が、心に残る接客マナーを伝授。実践的な講義の中では「コミュニケーションは、聞き手に決定権がある」「観光客が望んでいる期待値を上回ることが、ホスピタリティの向上につながる」といったおもてなしの気持ちが伝わる方法を教えられ、メモを取りながら参加者はうなずいていました。

参加者は、観光客と直に触れることとなる人たちが多く、新幹線で訪れたお客様を想定しながら、講師のアドバイスを熱心に聞いていました。



【地域観光ホスピタリティ向上研修会】



【中里幼稚園】

11月17日(木)には、富野・薄市保育所の児童も訪れ、歌のプレゼントや手作りのペン立て、クリップを役場の職員にプレゼント。こちらは初の試みて、どういう人たちが働いているか見学することも兼ねた慰問でした。役場を見た感想は「大変そう」「かっよかった」などさまざまでした。

訪れた子どもたちは、みんな大きな声で元気よくあいさつ。役場内に響き渡るかわいい声に、職員たちはしばし手を休め、目を細めていました。

ちびっ子たちが役場を慰問

保育所・幼稚園のちびっ子たちが、相次いで役場を慰問しました。

11月11日(木)には、中里幼稚園の園児たちが恒例の慰問。赤十字募金やお花を総務課長に手渡し、さらにピアノ演奏もしてくれました。町からも園児たちに大きなプレゼントを渡し、園児たちは満面の笑みで喜んでいました。



【富野・薄市保育所】

